

宇宙より銀河の方が古い?

英研究者ら 新説を報告

地球から遠く離れた銀河の年齢をスペクトルのデータなどから計算すると、標準的な宇宙モデルによる宇宙の年齢を上回り、銀河の方が古くなるという研究結果が十三日発行の英科学誌「ネイチャー」に報告された。

報告をまとめたのは、英エジンバラ大学のジェームズ・タンロップ氏らの研究グループ。ハワイにある大型望遠鏡を使い、銀河のうち特に強い電波を放射している「電波銀河」で「5.3W091」という暗く赤い銀河の吸収線スペクトルを測定した。

宇宙は百数十億年前に「ビッグバン」といわれる爆発で生まれ、膨張してきたとする理論によると、宇宙の膨張につれて、この銀河は地球から離れていく。このため、スペクトルの波長が長い波長の側にずれる「赤方偏移」が起き、研究グループはこの大きさを表す値を一・五と特定した。

この値を「アインシュタイン」ド・ジッター宇宙」と呼ばれる標準的な宇宙モデルに入れて計算すると、現在地球から見えている、この銀河や周辺の宇宙の年齢は大きめに見積もっても「三十二億歳」となった。

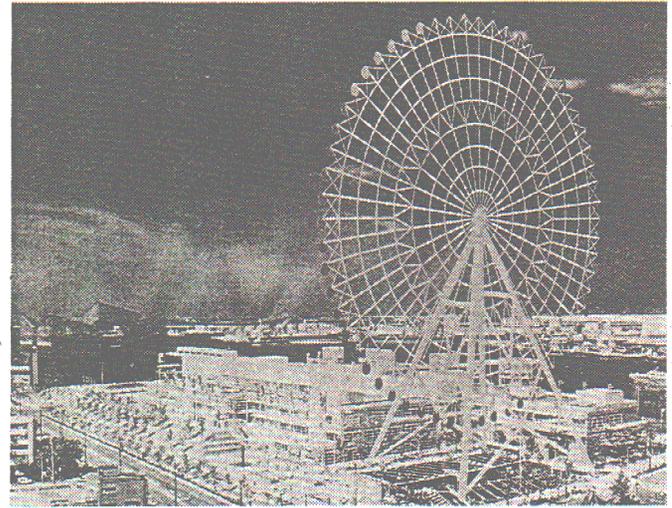
一方、銀河の色やスペクトルの特徴から、星の進化を説明する別のモデルを使って計算すると、この銀河の年齢は同じ時点で「三十五億歳以上」。標準モデルから導き出される、宇宙の年齢を上回るという矛盾した結果が得られた。

宇宙モデルの中には、宇宙の膨張をぎりぎりまで止めることのできる密度を持つ「アインシュタイン」ド・ジッター宇宙」のほかに、密度が低く永久に膨張を続ける「開いた宇宙」、ある時点で膨張をやめて収縮し始める「閉じた宇宙」がある。研究グループは、今回のような矛盾を解決するには「開いた宇宙」のモデルを採用する必要がある、と指摘している。

標準モデルに矛盾

家正則・国立天文台教授(銀河物理学)の話 クエーサー(準星)などではなく、普通の銀河のスペクトルを測定したものとしては、今回の銀河が最も遠いものだろう。この時代の銀河が既に三十五億歳にもなっていたとすれば、インフレーション理論が予測する宇宙モデルとは矛盾する。同じような矛盾は、われわれの銀河系内の球状星団の年齢からも指摘されている。

「天保山ハービーレッジ」に登場する世界最大の大型観覧車の完成予想図



大阪に世界最大の観覧車

来年7月オープン

大阪市港区のアミューズメント施設「天保山ハービーレッジ」に世界最大の大型観覧車が登場することになった。六月後半に着工、

来年七月に営業開始の予定。

観覧車は直径が百、高さが一・五、定員八人のキャビンが六十台(収容人員計四百八十人)設置される。ギネスブックによると、現在世界最大の観覧車は直

東大寺灯ろう 解体修理へ

大気汚染で悪性のサビ

奈良市の東大寺大仏殿前にある国宝の「八角灯ろう」(金銅製、高さ四・六メートル)が大気汚染の影響で悪性のサビによる劣化が進み、解体修理せざるを得ないことが十二日までに東京国立文化財研究所の調査で確認された。

文化庁などは七月末に解体修理に取り掛かり、八月中に大仏殿前から撤去する。寺内の修理工房でさびを落とし、樹脂に浸し補強するなどの処置を行う。修理は一九九八(平成十)年度までかかる見込みで、「大仏殿の象徴」はそ

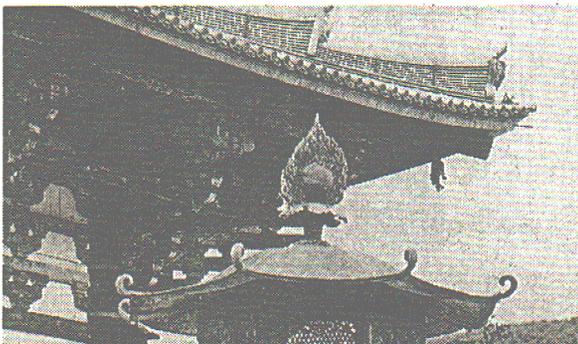
径百、高さ百五、収容人員四百八十人の「よこほまコスモワールド」(横浜市)のものだが、高さでは八百八の「びわ湖タワー」(大津市)が世界一。総事業費は約二十五億円で、同レレッジを管理する第三セクター「大阪ウォーリータワーフロント開発」(OWD、大阪市)と観覧車を運営する遊戯機メーカーの泉陽興業(同)が分担する。OWDは「世界最大の観覧車」として、ギネスブックに登録を申請することにしている。

新宿騒乱事件 の被告に有罪

保釈逃亡で22年ぶり判決 一九六八(昭和四十三)年十月の「新宿騒乱事件」で騒乱助勢と威力業務妨害の罪に問われ、保釈後の七年から逃亡していた元国学院大生小田一美被告(五)の公判が十二日、東京地裁で約二十二年ぶりに再開さ

八角灯ろうは奈良時代、大仏開眼会(七五二年)に合わせて制作されたといわれる。寺内に残る絵図や古文書などにも度々登場する。

東西南北の四面の火袋の



大気汚染の影響で悪性のさびに「八角灯ろう」12日午後、奈良・

第1667回近畿宝くじ (12日・大阪宝くじドリーム館)

れ、出田に事件は、逃走されるべきはない。執行猶予を渡した。小田被告

うち二面、ま。腰を雅になび楽器を奏んじょうりされ、技術を伝

十を成たが、成